

イトヨ (降海型)

トゲウオ目トゲウオ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Gasterosteus aculeatus (Linnaeus)

国カテゴリー

地域個体群

選定理由

小水路のコンクリート化などにもなう産卵場所の消失。

形態

背部に3本のトゲをもち、体側には31～34枚の鱗板が並んでいる。

国内分布

北海道、島根県・千葉県以南の本州。

県内分布

七尾市、志賀町、内灘町、小松市、加賀市。

生態

3月頃河川へと遡上して、小水路などで産卵する。水底に水草などを集めてすり鉢状の巣をつくり、雄が卵の世話をする。

生息地の条件

河川へと遡上し産卵場所に移動するまでの間、障害物がないこと。産卵場所となる小水路に、巣を作るための素材となる水草や営巣場所が必要。

生存の危機

遡上河川と産卵場所とのアクセスの低下。(A)

特記事項

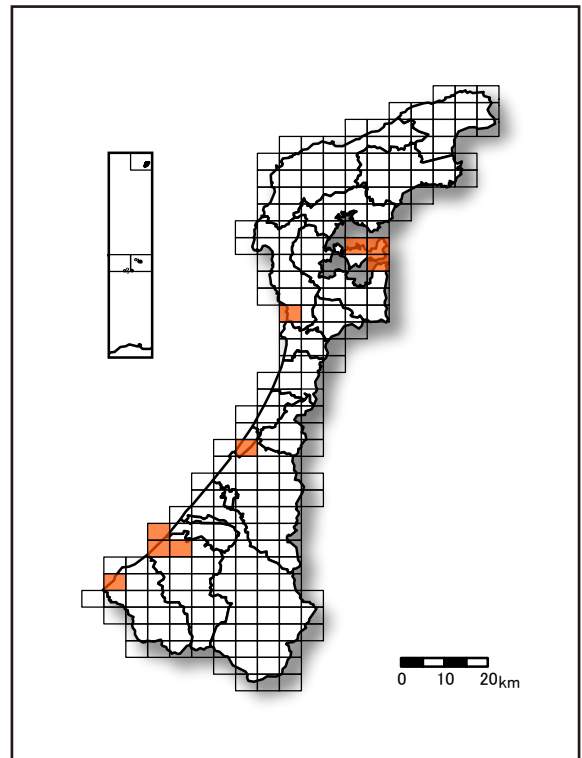
海域における生態が解明されていない。

参考文献

石川県淡水魚類研究会編 1996. 石川の自然環境シリーズ, 石川県の淡水魚類. 石川県環境安全部自然保護課. 金沢.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布